



H30.5.11

今月のキーワード

小・中をつなぐ授業づくり

国際理解教育の推進

連休明け、市の英語研修会が始まりました。小・中学校の先生方が一堂に会する研修を今年度も充実させていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小中学校英語授業に関する講話



5月7日、本市の英語教育推進に携わっていただいている東京家政大学の太田洋教授より、「小・中の学びをつなぐ授業づくり」と題して講話をいただきました。各学校外国語活動担当や外国語科主任の先生方、ALT等、多くの先生方に御参加いただきました。



<講話より抜粋> **How to learn (学び方) をそろえるために・・・**

- ① 言語観 (どのように言語は習得されていくのか) を指導者が理解しておくこと。
- ② インプットの仕方
 - ・いろいろな場面で繰り返して記憶に残すための効果的なインプット
 - ・理解可能なインプットにするために気を付けたこと (gesture/pause/repetition/ /example/pictures/interaction/negotiation)
- ③ インタラクション (やりとり) の仕方
 - ・チームティーチングにおける先生同士での(台本のない)やりとりの大切さ。
 - ・担任が会話を広げるための方略(自分の好きなこと + 例 + How about you?)

効果的に記憶するためのヒント

1. 自分に近づける
'How about me?'
個人に返す (personalization)
例: T: I like strawberries. "Who likes strawberries?"
2. 感情
3. 映像化 (場面)
4. 反復ブライミング
繰り返し出会う状況を作る



<振り返り用紙より>

- ・何度も塗り直す (学び直す) という言葉が印象的でした。英語に限らず他教科等でも「教えたのに・・・」と思うことが多々あります。指導者の言語観 (身に付くまでの時間と正確性の関係) を正しくもつことが大切だと思いました。
- ・完璧な英語で話さなくてはという思いが、自由なコミュニケーションを妨げていたと気付きました。
- ・小学校で学習したことを中学校がきちんと知っておくことが大切だと改めて感じました。インプットでたくさん取り入れることで学び直しができる単語があることに気付きました。

国際理解教育の推進



各学校において国際理解教育を推進していくために、ALT が今年度独自に実践していく取組を紹介します。英語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるためにも、子どもたちにとって充実した活動となるよう、御理解・御協力をお願いします。 □本務校

EL 先生(薬師寺小・吉田東小・南河内)

☆Interactive English Wall

Aim: For the students to get information and participate and write their thoughts on the free writing spaces.

英語の掲示板を作ります。英語でいろいろな情報得たり、コミュニケーションを図ったりすることができますようにします。

Phillip 先生(緑小・国分寺小・国分寺西小)

☆Morning English Broadcast

朝、英語での校内放送活動を行います。

☆Phonics フォニックスの取組

I would like to implement phonics as a warm-up for each lesson as much as possible. 英語の音に慣れるために、ウォーミングアップなどでフォニックスを取り入れます。

Gagnon David 先生(国分寺中・国分寺東小)

☆Labelling (grades 1 to 9)

Label classroom objects and rooms in English with pictures.

英語での掲示物を作成します。英語と写真の両方を提示し、英語に常に触れることができる空間をつくります。

Leni 先生(吉田西小・古山小・細谷小)

☆“English Reading Training Time”

A once a month short story reading training with Leni in the library.

月一回、図書室で短絵本の読み聞かせを行います。絵本を通して、英語の音やリズムに慣れることができます。



Narumi 先生(石橋小・石橋北小)

☆Labelling (grades 1 to 9)

Label classroom objects and rooms in English with pictures.

英語での掲示物を作成します。英語と写真の両方を提示し、常に英語に触れることができますようにします。

Joe 先生(石橋中)

☆Newsletter

国際理解に役立つ英語でのニュースレターを作成します。

☆Social studies class

社会科の授業とコラボレーションし、国際理解教育につながる授業を計画します。



Quentin 先生(南河内第二中・祇園小)

☆Dictionary Discovery

辞書を使って、アメリカ英語やイギリス英語の違いを見つけたり、語彙を増やしたりする活動を行います。自己表現に使える単語を増やすことにもつながります。

